

海とつながる待機スペース

《 concept 》

旅路の合間のひととき……

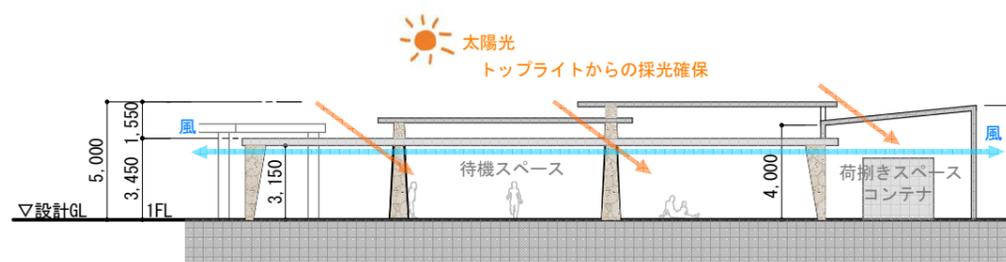
潮騒や潮風、差込む日差しを感じながら、

ココロとカラダを癒し、解きほぐせる空間を提案する。

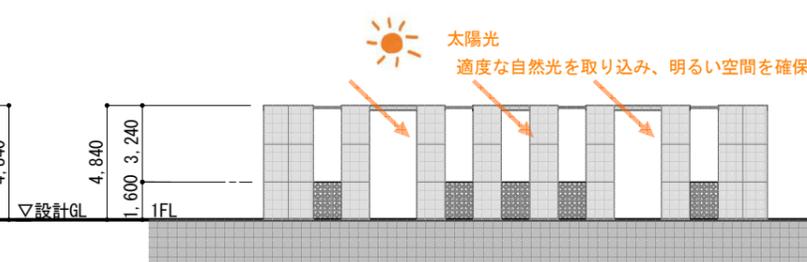
《 plan 》

待機スペースは、多くの人が利用できるように大空間とし、城跡をイメージさせる琉球石灰岩をまとった柱と、大判で波打つような、高さの異なるRC屋根で解放感と安心感、迫力のある空間を演出した。配置するベンチは可動式とすることで、空間の自由度が高くなる。高さの異なる5枚の屋根は、各々の隙間から光が差し込み、風が吹き抜け、雨をしのぎながらも、明るい大空間を創り出す。

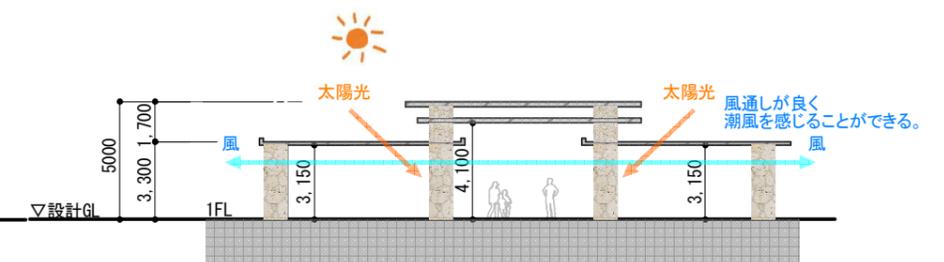
荷物スペースの上部にトップライト、壁面にはスリットを設け、待合スペースとはゾーニング分けをしつつも、明るく開放的な空間としている。



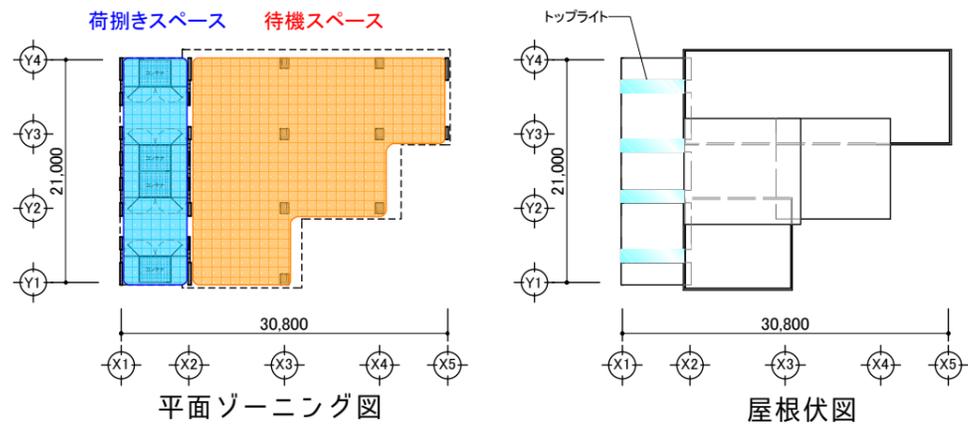
北立面図 1/300



西立面図 1/300



断面図 1/300



配置計画
 待機スペースは既存旅客待合所入口とアクセスのよい東側に配置した。
 荷捌きスペースは西側に配置し、コンテナを西側1列に並べることで西日対策・強風時の雨・風を防ぐ効果を持たせた。
 壁面には花形ブロックを使用することで沖縄らしさと通気性のよさを両立し待合時の癒しとなるよう計画した。



動線計画
 既存旅客待合所入口と待機スペースが隣接しているため人の流れが既存旅客待合所利用時と同様の流れで利用することができる。
 コンテナを移動する際には、フォークリフトは北側通路から荷捌きスペース北面に付けコンテナを外側から持ち上げるにより待機スペースにフォークリフトが進入することなく作業を完了することができ、安全面にも配慮した計画となっている。

